

世田谷区子ども計画(第3期)策定

ひとり親家庭調査 調査概要

1 調査の目的

「世田谷区子ども計画(第3期)」の策定にあたり、世田谷区のひとり親家庭の実態を把握し、今後の区のひとり親家庭支援等の検討に資することを目的とする。
調査のポイントは以下の通りである。

Point1 コロナ禍を経たひとり親家庭の実態及びニーズの変化を把握する

- 平成 30 年度調査からコロナ禍や社会状況の変化等を経たひとり親家庭の実態及びニーズを把握します。

Point2 ひとり親家庭の悩みや困難な状況を把握し、施策展開の参考とする

- 悩みや困難な状況を抱えるひとり親家庭の実態を把握し、潜在的な課題の発見・分析をし、ひとり親家庭支援のあり方の検討材料とします。また、ひとり親家庭に寄り添った相談支援や効果的な情報提供の手段を検討します。

Point3 子どもの生活安定に向けた課題を把握し、支援を検討する

- 子どもの多様な経験の機会の有無や学習環境の実態などを把握し、子どもの将来が生まれ育った家庭の状況に左右されないよう、子どもの最善の利益を重視した支援を検討します。

2 調査対象

児童育成手当受給世帯のうち、申請理由が離婚、死亡、生死不明、遺棄、未婚である世帯の保護者 約 4,400 人

3 調査方法

郵送配布
郵送・インターネットによる回収

4 調査時期

令和 5 年 11 月 1 日(水)～11 月 22 日(水)

5 調査の大項目におけるねらい

大項目	ねらい
A 回答者について	回答者の属性などの基本情報について把握し、分析軸とする。
B 住居について	住居に関する困りごとや希望を把握し、今後の居住支援施策検討の参考とする。
C ふだんの生活について	ひとり親になったときの状況をはじめ、養育費や面会交流の状況について把握し、施策検討に役立てる。
D 仕事について	仕事の現状及び今後の希望を把握する。また、新型コロナウイルス感染症の拡大など、前回調査時とは回答者を取り巻く環境が変化しているため、前回調査との比較を通し、働き方の変化について分析し、就労支援施策の検討の参考とする。
E 経済状況について	ひとり親家庭の経済状況の現状を把握する。 世帯収入については、分析軸として用いることも検討する。
F 子育てについて	子どもの状況や子育ての悩みや困難な状況を把握し、前回調査との比較をしながら新たな子育て支援施策を検討する。また、子どもの多様な経験の状況や学習環境の実態などを把握し、今後の施策検討の参考とする。
G 相談支援について	相談窓口や公的制度・施設等がどのくらい認知されているか、現状を把握する。また、新たに、ひとり親家庭になる前に知りたかったことや便利だと思える情報収集方法などを把握し、今後の相談支援事業の方向性の検討や事業の充実に向けた参考とする。

6 調査項目案

凡例 :新規
 :一部修正

大項目	問番号	質問	問番号 (H30)	経年 比較
A 回答者について	1	回答者	1	
	2	年齢	2	○
	3	居住地域	3	○
	4	同居家族	6	○
B 住居について	5	住居状況	7	○
	5-1	住居を借りる際に最も必要とする設備	新規	
	5-2	希望する間取り	新規	
	5-3	借りる際に困ったこと	7-1	○
	5-4	必要な居住に関する支援	7-2	○
	6	住居の選択にあたって優先すること	8	○
	6-1	毎月負担している住居費	8-1	○
C ふだんの生活について	7	ひとり親になったときの年齢	10	○
	8	ひとり親になったときの末子の年齢	11	○
	9	ひとり親になった理由	12	○
	9-1	子どもの認知状況について	12	○
	10	養育費を受け取っているか	12-1	○
	10-1	養育費の月額	12-1-1	○
	10-2	養育費についての取り決め	12-1-2	(○)
	10-3	養育費の支払いの履行状況	12-1-3	○
	10-4	養育費を受け取っていない理由	12-1-4	○
	11	面会等の状況	12-2	(○)
	11-1	子どもが相手方と会っていない理由	12-2-1	○
	11-2	面会交流についての取り決め	12-3	(○)

大項目	問番号	質問	問番号 (H30)	経年 比較
D 仕事について	12	現在、仕事をしているか	13	○
	12-1	雇用形態	13-1	○
	12-2	就業時間(1日の就労時間、1週間あたりの就労日数、平均的な帰宅時間)	13-2	○
	12-3	仕事を選ぶ優先度	13-5	○
	12-4	現在の仕事の継続意向	13-6	○
	12-5	現在の状況	13-7	○
	12-6	今後、希望する雇用形態	13-8	(○)
	13	新しく仕事を始めるときに必要な支援	14	○
	14	最終学歴	15	○
	15	資格(①持っている資格・技術、②これから取得したい資格・技術)	16	○
E 経済状況について	16	生計を立てている収入	17	○
	17	年間の世帯の総収入(①年間の世帯の総収入、②年間の総収入のうちの就労収入)	18	○
	18	家計(①家計の中で多くを占める費用、②もっとお金をかけたいと思う費用)	19	(○)
F 子育てについて	19	お子さんの人数(20歳未満のお子さんについて)	新規	
	19-1	お子さんについて(性別、生年月、同居・別居、学齢・就学・就労状況等)(20歳未満のお子さんがある家庭のみ)	20	(○)
	20(1)	定期的な子どもの預け先(未就学児のお子さんがある家庭のみ)	21	(○)
	20(2)	子どもが体調不良のときの預け先(未就学児のお子さんがある家庭のみ)	新規	
	21	子どもとのコミュニケーション方法(小学生のお子さんがある家庭のみ)	23-6	(○)
	22-1 ~ 22-3	経済的な理由でできていないこと(小学生、中学生、高校生世代のお子さんがある家庭のみ)	新規	
	23	現在の子どもや自分のことでの悩みごと	24	○
	24	周囲の人との関わり方	27	○
G 相談支援について	25	ひとり親になる前後の悩みごとの相談先	28	○
	26	相談したくてもできなかった理由	29-1	○
	27	ひとり親になる時に知りたかったこと	新規	
	28	総合支所の子ども家庭支援センター窓口の利用の有無	31	○
	28-1	総合支所の子ども家庭支援センター窓口を利用しなかった理由	31-1	○
	28-2	どうしたら区の窓口が利用しやすくなると思うか	31-2	○
	29	公的制度・施設等の認知状況	32	(○)
	30	支援情報の入手先	33	○
	31	便利だと思う支援情報の入手方法	新規	
	32	ひとり親施策の中で、区に特に取り組んでほしいこと	新規	
	33	悩みや不安、必要と感じる支援等(自由回答)	34	

【削除質問】

大項目	問番号 (H30)	質問
A 家族の状況、 生活について	4	居住年数
	5	居住を始めた時期
	9	ひとり親になってからの年数
	12-4	別れるにあたっての暴力や嫌がらせの有無
C 仕事について	13-3	片道の通勤時間
	13-4	情報入手方法
F 子育てにつ いて	22	放課後の過ごし方等(放課後の過ごす場所、夏休みなどの長期休暇中の 過ごす場所)
	23-1	子どもが朝ごはんを食べる頻度
	23-2	子どもが朝ご飯を食べる相手
	23-3	子どもが夕ご飯を食べる頻度
	23-4	子どもが夕ご飯を食べる相手
	23-5	学校の授業以外の勉強時間(小学生のお子さんがある家庭のみ)
	25	子どもの健康・発達の状況
	25-1	親の健康状態
	25-2	成人前の経験
	25-3	病院や歯医者を受診できなかったことがあるか
	25-4	病院や歯医者を受診できなかった理由
26	自分のことをどう思うか	
G 相談支援につ いて	29	専門職への相談で体験したこと
	30	世田谷区の総合支所の子ども家庭支援センターの認知
	33-1	支援制度等の利用意向